

一〇
モ發生シ、延イテハ失業問題ヲ惹起スルコトガ豫想セラレルノデアリマスガ、之ニ對シテハ軍需工業、輸出工業、代用品工業等ヘノ轉換ニ極力努メル方針デアリマシテ、關係方面トモ協議ノ上社會政策的見地ヨリモ適切ナル措置ヲ講ジ度イト考ヘテ居ル次第デアリマス。

以上申述べマシタル所ハ何レモ現下ニ於ケル喫緊ノ要務ト信ズルノデアリマスガ、各位竝ニ一般國民ノ深甚ナル理解ト協力ナクシテハ到底所期ノ目的ヲ達成シ難イノデアリマス。各位ハ宜シク政府ノ意ノ在ル所ヲ諒得セラレ、本會議ニ於テモ隔意ナク所見ヲ披瀝セララルト共ニ、御歸任ノ節ハ汎ク管下ニ現下ノ時局竝ニ經濟動向ヲ充分ニ認識、理解セシメラレ以テ朝野一致、中央、地方相率キテ長期戦下ニ於ケル國防經濟ノ整備、運行ニ遺憾ナキヲ期スル様指導、督勵ニ努メラレンコトヲ切望シテ已マナイノデアリマス。

指 示 事 項

(昭和十三年七月)

商 工 省

目 次

- 一、物價ノ騰貴抑制ニ關スル件……………一
- 二、有價證券業取締法施行ニ關スル件……………二
- 三、金ノ増産計畫ニ關スル件……………三
- 四、鑛業出願事務ノ處理促進ニ關スル件……………四
- 五、石油消費規正ニ關スル件……………五
- 六、石炭ノ消費節約ニ關スル件……………七
- 七、揮發油及アルコール混用法ノ施行ニ關スル件……………八
- 八、關東州、滿洲國及中華民國以外ノ第三國ニ對スル輸出促進ニ關スル件……………九

- 九、鐵鋼配給統制規則ノ施行ニ關スル件……………一〇
- 一〇、銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル省令ノ改正ニ關スル件……………二
- 一一、鐵鋼工作物業造許可規則ノ改正ニ關スル件……………三
- 一二、鋼製品ノ製造制限ニ關スル省令制定ニ關スル件……………三
- 一三、製鐵工場等ニ對スル工場法其ノ他取締規則ノ運用ニ關スル件……………四
- 一四、屑鐵配給統制機關ノ設置ニ關スル件……………五
- 一五、石炭ノ生産並配給統制ニ關スル件……………六
- 一六、鉛、亞鉛、錫等使用制限規則制定ニ關スル件……………七
- 一七、鉛、亞鉛、錫及アンチモンノ配給統制ニ關スル件……………八
- 一八、屑銅ノ配給統制ニ關スル件……………九
- 一九、銅使用制限規則ノ施行ニ關スル件……………一〇
- 二〇、工作機械ノ増産ニ關スル件……………二
- 二一、一部特殊機械ノ配給統制ニ關スル件……………三
- 二二、國內向綿製品ノ生産及配給統制ニ關スル件……………三
- 二三、輸出綿製品ノ配給統制ニ關スル件……………四
- 二四、羊毛製品ノ需給調整ニ關スル件……………五
- 二五、化學纖維ノ需給調整ニ關スル件……………六
- 二六、純ベンゾール及純トルオールノ需給調整ニ關スル件……………七
- 二七、苛性ソーダノ價格統制ニ關スル件……………八
- 二八、石炭酸及クレゾールノ需給調整ニ關スル件……………九
- 二九、皮革使用制限規則ノ施行ニ關スル件……………一〇
- 三〇、皮革製品販賣價格取締規則ノ施行ニ關スル件……………一〇
- 三一、皮革配給統制規則ノ施行ニ關スル件……………一〇
- 三二、ゴム配給統制規則ノ施行ニ關スル件……………一〇

三三、ゴムノ使用制限ニ關スル省令ノ施行ニ關スル件……………三四

三四、ゴム靴ノ販賣制限ニ關スル省令施行ニ關スル件……………三五

三五、米松販賣取締規則ノ施行ニ關スル件……………三六

三六、木造建築物許可規則制定ニ關スル件……………三七

一、物價ノ騰貴抑制ニ關スル件

我が國現下ノ情勢ニ鑑ミ物價ハ現在以上ニ之ヲ騰貴セシメザルハ勿論進ンデ之ガ引下ヲ爲スノ要アルヲ以テ近ク之ガ爲暴利取締令ノ改正ヲ行フ豫定ナルガ、今後益々中央物價委員會ノ活動ヲ促シ廣ク標準最高販賣價格ヲ設定スル方針ニシテ、同委員會ニ於テ決定シタル最高價格ノ實行ヲ確保スル爲今般物品販賣價格取締規則ヲ制定セリ、地方ニ於テモ地方物價委員會ノ充分ナル活用ト監視機構ノ適當ナル運用トニ依リテ地方的事情ヲ充分考慮ノ上物價ノ騰貴抑制ニ付遺憾ナキヲ期セラレ度シ

二、有價證券業取締法施行ニ關スル件

取引所ニ依ラザル有價證券ノ賣買又ハ其ノ媒介ヲ爲ス營業ヲ免許制度トシ之ガ監督取締ヲ爲ス目的ヲ以テ曩ニ第七十三回帝國議會ノ協賛ヲ得テ有價證券業取締法ノ制定公布ヲ見、去ル七月一日ヨリ實施セラルルニ至リタル處本法ノ施行ニ付テハ地方廳ニモ監督事務ヲ委ネアルニ付警察部トモ充分連絡ノ上斯業ノ監督取締上遺憾ナキヲ期セラレ度シ

(以上商務局關係)

三、金ノ増産計畫ニ關スル件

國防經濟ノ進展ニ伴ヒ巨額ノ軍需及生産資材ノ輸入ヲ不可避トスル一面國際收支ノ均衡ヲ維持セザルベカラザル現状ニ於テ金増産ノ急務ナルハ縷言ヲ要セズ斯ノ故ニ當局ニ於テハ既ニ昭和七年以降産金獎勵ニ關スル諸般ノ方策ヲ講ジ來リ特ニ今次事變ノ發生ヲ契機トシテ昭和十七年内地産金額五十六匁、朝鮮産金額七十五匁ノ實現ヲ目標トスル劃期的ナル金増産五ヶ年計畫ヲ樹立シ産金法及日本産金振興株式會社法ノ制定公布ヲ初トシテ諸般ノ施設ヲ講ジ銳意之ガ目的ノ達成ニ努メツツアルモ所期ノ目的ヲ實現スルハ事必シモ容易ナラザルモノアリ官民一層ノ協力支援ヲ必要トスル次第ナルガ特ニ地方廳ニ於テハ製鍊場、選鑛場ノ建設、金鑛出願處分ノ促進等ニ關シ積極的ニ援助相成度シ

四、鑛業出願事務ノ處理促進ニ關スル件

四

鑛山監督局長鑛業出願ヲ受理シタル場合ニ於テハ大正元年農商務省訓令第一號ニ依リ原則トシテ出願地所管ノ地方長官ニ對シ公益上支障ノ有無ニ關スル意見其ノ他ニ關シ照會ヲ發シ、地方長官ハ三十日以内ニ之ニ對シ回答ヲ爲スコトトナリ居ルモ事實ハ地方長官ヨリノ回答ノ遲延スルモノ尠カラズ之ガ爲ニ鑛業出願未處分件數ハ著シク増加シツツアリ、出願件數累増シツツアル最近ノ趨勢ニ鑑ミ當局ニ於テモ銳意之ガ處理進捗ニ努メ居ルノ際地方廳ニ於テモ鑛山監督局ヨリノ照會ニ對シテハ速ニ回答相成様取計ハレ度シ

(以上鑛山局關係)

五、石油ノ消費規正ニ關スル件

(一) 購買券ノ配分方法ニ關スル件

消費ノ規正ハ今後最大限度ニ強化セザルベカラザル情勢ニ立チ至リタルヲ以テ購買券ノ發行方ニ關シテハ特ニ慎重ヲ期シ從來ノ比率、配分方法等ニ捉ハルルコトナク時局ノ要求ニ從ヒ其ノ緩急ニ適合セシメ必要ナル方面ヘノ供給ヲ確保スルト共ニ不要不急ナル方面ヘノ配分ヲ極度ニ抑制スルノ要アリ即チ揮發油ニ在リテハ時局産業上必要ナル工業原料用竝ニ軍需關係資材、石炭、鑛石等ノ重要鑛産物、緊急事業用資材ノ輸送用ニ使用セラルル方面ニ對スル供給ヲ確保スルト共ニ家庭用、遊覽バス用、モーターボート用等ハ禁止的制限ヲ行ヒ、自家用乗用車、タクシー、ハイヤー、バス等ニ對シテモ極力規正率ヲ高ムルコトトシ又重油ニ在リテモ軍需品、輸出品ノ製造等ニ使用セラルルモノニ對シテハ優先的ニ其ノ供給ヲ確保スルト共ニ船舶、漁船等ニ付テハ從來ノ無駄排除ノ程度ヲ超エ、出來得ル限り高度ノ規正率ヲ適用スルコトトシ不要不急品ノ製造、遊覽船、遊漁船等ニ對シテハ禁止的ノ規正ヲ加フル様處置セラレ度シ

五

(二) 設備ノ轉換ニ關スル件

石油消費規正ノ強化ニ伴ヒ石油使用設備ノ轉換ヲ強化促進スルノ要アルヲ以テ技術上轉換可能ナル設備ハ業種ノ如何、消費量ノ如何ヲ問ハズ事情ノ許ス限り極力轉換セシムル様特ニ配意アリ度シ尙此ノ際工
礦業中軍需關係工場ノ生産力ニ支障ヲ來サザル様留意相成度シ

(三) 設備轉換資材ノ獲得斡旋ニ關スル件

ガソリン自動車ノ代用トシテノ薪炭瓦斯自動車、重油ニ代ルベキ動力源、熱源トシテノ石炭、瓦斯、電
氣竝ニ轉換ニ要スル資金、原材料等ニ關シテハ目下ノ處之ガ取得上困難ヲ感ズル實情ニ在ルヲ以テ此等
ノ資材ノ獲得斡旋ニ關シテハ關係方面竝ニ當局ト連絡ノ上萬全ノ策ヲ講ジ以テ急速ニ設備轉換ヲ完了セ
シムル様配意アリ度シ

六、石炭ノ消費節約ニ關スル件

石炭ノ需給計畫上本年度ニ於テハ少クトモ三百萬噸程度ノ消費ヲ節約スルノ要アリ然ルニ石炭消費ノ現状ヲ
觀ルニ適性炭ノ選擇、燃燒方法ノ合理化等ニ依リ節約ノ餘地尠カラザルモノアルヲ以テ地方廳ニ於テハ恒久
的消費節約研究會ノ設置、燃燒技術者ニ對スル講習、實地指導等適切ナル施設ヲ講ジ以テ消費節約ノ實效ヲ
收ムル様配意アリ度シ尙本趣旨ノ徹底ヲ圖ル爲當局ニ新ニ専門ノ燃燒指導員ヲ設置シタルヲ以テ地方廳ニ於
テ前記指導ヲ爲サントスルニ當リテハ豫メ當局ト打合セノ上右指導員ヲ利用セラレ度シ

七、揮發油及アルコール混用法ノ施行ニ關スル件

揮發油及アルコール混用法ハ關係法令ト共ニ四月二十五日ヨリ施行セラレ七月ヨリ十二月末日迄ノ期間ハ内燃機關用揮發油ノ四分ノ一二五%ノアルコールヲ混入セシムルコトトナリタルガ、アルコール混入揮發油ハ差當リ主トシテ東京府及神奈川縣地方ニ販賣セラルルモノト思料セラルルモ漸次内燃機關用揮發油ノ全部ニアルコールヲ混入セシムルコトトナルベキヲ以テアルコール混入揮發油ノ使用ヲ圓滑ナラシムルト共ニ揮發油トアルコールトノ分離防止、アルコールヲ混入セザル揮發油ノ内燃機關用ヘノ使用禁止其ノ他混用制度ノ趣旨ヲ達成スル様特ニ配意アリ度シ

(以上燃料局關係)

八、關東州、滿洲國及中華民國以外ノ第三國ニ對スル輸出促進ニ關スル件

現下我が國ノ實情ニ鑑ミ軍需資材、生産力擴充資材乃至輸出品用原材料ノ確保ノ爲ニハ外貨ノ獲得ハ最モ緊要トスル所ナリ、而シテ之ガ爲ニハ圓ブロック諸國即チ關東州、滿洲國及中華民國ノ諸國以外ノ第三國ニ對スル輸出貿易ヲ特ニ増進セシムル必要アル處本年ニ於テハ此等第三國ニ對スル輸出額ノ減退著シキ状態ナルヲ以テ地方廳ニ於カレテモ輸出ノ促進ニ付特ニ留意ノ上關係業者ヲ適當ニ指導方配慮相成度シ

(以上貿易局關係)

九、鐵鋼配給統制規則ノ施行ニ關スル件

鐵鋼ノ配給統制ニ付テハ鐵鋼統制協議會ヲ設置シ鐵鋼ノ計畫的配給ヲ實施シツツアル處新ニ鐵鋼配給統制規則ヲ制定シ其ノ徹底ヲ期スルコト爲シタリ、本則施行ニ當リテハ其ノ制定ノ趣旨竝ニ内容ヲ當業者ニ周知セシメ之ガ運用上過誤ナキヲ期スル様當業者及統制團體ノ指導、監督等ニ付各位ノ配慮ヲ煩ハシ度シ

一〇、銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル省令ノ改正ニ關スル件

銑鐵鑄物ニ使用セラルル銑鐵ノ消費節約ヲ圖ル目的ヲ以テ曩ニ銑鐵鑄物ノ製造制限ニ關スル件(省令)ヲ制定シ、什器等約五十品ノ鑄物製品ヲ指定シ之ガ製造ヲ制限シタル處更ニ其ノ強化ヲ圖ル爲制限品目ヲ追加スルコトトシタルニ付今後一層ノ配慮ヲ煩ハシ度シ

一一、鐵鋼工作物築造許可規則ノ改正ニ關スル件

曩ニ鐵鋼工作物築造許可規則ヲ制定シ比較的不急ト認メラルル工事ヲ制限シ來タリタル處更ニ鋼材ノ消費節約ヲ強化スル爲鐵鋼使用數量五十噸以下ノ工作物ニ付テモ地方長官ノ許可ヲ受ケシムルト共ニ、一般工作物ニ薄鋼板ヲ使用スルコトニ付テモ地方長官ノ許可ヲ受ケシムル如ク本則ヲ改正シタリ、本則ニ關シテハ既ニ格別ノ配意ヲ煩ハシ著々其ノ效果ヲ擧ゲツツアルガ、右改正ニ依リ鋼材ノ消費節約ガ強化徹底セララル様一層配意アリ度シ

一二、鋼製品ノ製造制限ニ關スル省令制定ニ關スル件

一般鋼材ノ消費節約ヲ強化スル爲鋼製品ノ製造制限ニ關スル件(省令)ヲ制定シ商工大臣ノ指定スル物品又ハ其ノ部分品ハ鋼材(屑鐵ヲ含ム)ヲ材料トシテ之ヲ製造スルコトヲ得ザルコトトシ軍需品又ハ輸出品ノ製造等特別ノ事情アル場合ニ限り地方長官ノ許可ヲ受ケシメ鋼材ヲ使用シ得ルコトトセリ、本令ノ施行ハ關係産業ニ對シ多大ノ影響ヲ及ボスモノアルヲ以テ禁止鋼製品ノ製造業者ニ對シテハ軍需工業ヘノ轉換ヲ指導幹旋スル等適當ナル措置ヲ講ジ施行上遺憾ナキヲ期セラレ度シ

一三、製鐵工場等ニ對スル工場法其ノ他取締規則ノ運用ニ關スル件

製鐵業ノ生産擴充ノ必要ハ現下ノ情勢ヨリ見テ特ニ緊切ナルモノアリ從來製鐵事業法ノ施行ニ依リ之ガ促進ヲ期シツツアル次第ナルヲ以テ、地方廳ニ於テモ工場法其ノ他ノ取締規則ノ運用ニ付テハ生産擴充ヲ阻害スルコト無キ様充分配慮アリ度シ

一四、屑鐵配給統制機關ノ設置ニ關スル件

製鐵原料タル屑鐵ノ配給及價格ノ統制ヲ圖ル爲屑鐵ノ配給統制機關ヲ設置スルコトト爲シタリ、右機關設置ノ後ハ屑鐵ノ取引ハ總テ同機關ヲ經由シテ行ハルルコトトナルヲ以テ之ガ實施ニ付協力セラレ度シ

一五、石炭ノ生産並ニ配給統制ニ關スル件

石炭増産ノ具體的計畫及其ノ具體化方策並ニ石炭需給調整上必要ナル具體的實施計畫ヲ作成シ緊急ノ措置ヲ講ズル必要アルヲ以テ臨時物資調整局内ニ關係各廳關係官及民間關係業者ヨリ成ル石炭生産統制協議會及石炭配給統制協議會ヲ設置シ石炭需給調整上萬遺憾ナキヲ期セントセル次第ニ付地方廳ニ於テモ充分協力セラレ度シ

一六、鉛、亞鉛、錫等使用制限規則制定ニ關スル件

鉛、亞鉛、錫、アンチモン若ハニッケル又ハ此等ノ金屬ヲ用ヒタル合金ニ付テハ之ガ使用ニ關シ從來法規的制限ヲ加フルコトナカリシガ最近ノ情勢ニ鑑ミ此等金屬ノ使用節約ヲ強化スルノ要アリ仍テ鉛、亞鉛、錫等使用制限規則ヲ制定シ不急用途ニ對スル使用ヲ原則トシテ禁止スルコトナリタルニ付之ガ實施ニ關シ遺憾ナキヲ期セラレ度シ

一七、鉛、亞鉛、錫及アンチモンノ配給統制ニ關スル件

一八

鉛、亞鉛、錫及アンチモンノ配給ニ關シ輸入品ニ付テハ輸入許可又ハ爲替許可ノ許否ニ當リ數量、配給先等ヲ考究按配シツツアルモ國內生産品ニ付テハ從來何等措置スル所ナカリシ次第ナルガ國內生産品ノ配給ヲモ統制スルノ要アルヲ以テ先ヅ國內ニ於ケル製鍊業者ニ對シ其ノ生産品ノ處分ニ關シ豫メ當省ノ承認ヲ受ケシムルコトトシ漸次國內生産品及輸入品ニ付一元的配給統制ヲ爲ス豫定ニ付地方廳ニ於テモ之ガ實施ニ付協力セラレ度シ

一八、屑銅ノ配給統制ニ關スル件

現在電氣銅ニ付配給ヲ統制シツツアルモ屑銅ニ及バザル爲其ノ配給及價格ニ變態的現象ヲ呈シ遺憾ノ點多キヲ以テ電氣銅ノ統制ト併セテ屑銅ノ統制ヲ實施シ之ガ配給及價格ノ適正ヲ圖リ以テ原料銅ノ全面的統制ヲ實施スベク目下之ガ具體策考究中ナルガ屑銅配給統制ノ徹底ヲ期スルニハ各位ノ協力ヲ要スルモノ大ナルモノアルヲ以テ充分配意アリ度シ

一九、銅使用制限規則ノ施行ニ關スル件

銅使用制限規則ノ運用ニ當リ同則第四條ノ適用ニ付テハ若ハ故ノ銅又ハ銅合金ノミヲ使用スル場合又ハ若ハ故ノ銅又ハ銅合金ノミヲ以テ製造セラレタル原材料ノミヲ使用スル場合ハ之ヲ容認シ來レルモ銅ニ關スル物資動員計畫ニ基ク計畫數量ト國內產銅及輸入銅ノ現状トヲ彼此檢討スルニ於テハ更ニ右ノ使用ニ付テモ制限ヲ強化スルノ要アルニ依リ目下著々具體策考究中ナルヲ以テ本件實施ノ際ハ充分協力相成度シ

二〇、工作機械ノ増産ニ關スル件

政府ニ於テハ現下ノ時局ニ鑑ミ兵器其ノ他各種重要機械工業ノ整備充實ヲ圖ル爲之ガ基礎設備タル工作機械ノ増産ヲ圖リ且其ノ生産力ノ擴充ニ努メツツアリ之ガ爲曩ニ議會ノ協賛ヲ得テ工作機械製造事業法ヲ制定シ同法ハ七月ヨリ施行セラルコトナリタル次第ナルガ地方廳ニ於テモ工作機械増産ノ重要性ヲ認識セラレ材料ノ配給其ノ他ニ關シ特ニ考慮ヲ拂フ等所期ノ目的達成ニ充分協力セラレ度シ

二二、一部特殊機械ノ配給統制ニ關スル件

現下ノ情勢ハ各種物資ノ需給ノ調整ヲ必要トシ之ガ爲不要、不急ノ消費ノ制限ヲ行ヒツツアル次第ナルガ機械類ニ付テモ特ニ急増スル需要ニ對シ供給ガ及バザルモノニ付テハ之ガ配給ヲ統制シ時局ニ最モ必要ナリト認メラルル部門ニ之ガ配給ヲ爲サントス而シテ差當リ工作機械ニ付省令ヲ以テ配給統制ヲ行フコトト爲リタルガ其ノ他ノ機械類ニ付テモ順次同様ノ措置ヲ採ル豫定ナルヲ以テ之ガ實施ニ當リテハ地方廳ニ於テモ協力相成度シ

二二、國內向綿製品ノ生産及配給統制ニ關スル件

國際收支ノ關係ヨリ國內向綿製品ハ爾今當分ノ間軍需品、生産資材等ヲ除クノ外其ノ生産ヲ停止セザルヲ得ザル現狀ニ在ルヲ以テ先般來徹底シタル消費節約並ニ之ニ對應セル生産及配給統制ノ確立ニ至ル迄ノ間差當リノ措置トシテ四件ノ省令ヲ制定シ(1)纖維製品ノ價格引上禁止(2)國內向綿製品ノ生産、加工、販賣ノ制限、(3)現在ストック品ノ買上等ヲ行ヒツツアル處此等諸方策ノ實施ハ關係業者ニ對スル影響極メテ甚大ニシテ充分其ノ趣旨ノ徹底ヲ圖ラザルニ於テハ不用意ニ政府ノ政策ニ背馳スル者ヲ生ジ今後ノ諸施設ノ施行ニ支障ヲ來ス虞アルヲ以テ關係業者ニ對シテハ克ク現下ノ經濟事情ヲ認識セシメ一致シテ此等方策ノ實施ニ協力セシムルト共ニ之ガ違反行爲ハ延イテハ我が國財政經濟ニ至大ノ影響ヲ齎スモノアルヲ以テ苟モ違反者ナキ様嚴重ニ取締ヲ厲行セラレ度シ尙國內向製品ヲ製造スル工業者ニ對シテハ綿絲ニ代ヘステープル・ファイバー絲ヲ配給スルコトトナリタル處之ガ配給方法ニ付テハ從來ヨリ一層徹底シテ取引關係ノ合理化ヲ圖リツツアルヲ以テ關係業者ヲシテ克ク其ノ方法ヲ理解セシメ之ガ運行ニ誤ナキヲ期セラレ度シ

二三、輸出綿製品ノ配給統制ニ關スル件

二四

綿製品ノ輸出ヲ確保シ更ニ其ノ振興ヲ期スルコトハ現下ノ時局ニ鑑ミ極メテ緊要ト認メラルルヲ以テ先般輸出綿製品配給統制規則ヲ公布施行シ輸出品ニ使用スル棉花ノ輸入ニ付テハ個人的ニ其ノ製品ノ輸出ニリンクセシムルト共ニ從來ノ取引機構ヲ整理統合シテ合理的ニ輸出向綿製品ノ内地流入ヲ防止スルコトシタルガ本件ノ適確ナル運行ハ實ニ本邦綿業ノミナラズ産業全般ニ至大ノ影響ヲ及ボスモノト思料セララルルヲ以テ關係業者ニ對シ其ノ趣旨ヲ徹底セシムルト共ニ苟モ違反行爲ナキ様嚴重取締方協力アリ度シ

二四、羊毛製品ノ需給調整ニ關スル件

羊毛ノ輸入制限ニ伴ヒ羊毛製品ニ付テハ其ノ國內消費ヲ極力節減スルト共ニ他面之ガ輸出ノ振興ヲ圖ル要アル爲從來國內用品ニ付テハ毛製品ステーブル・ファイバー等混用規則ニ依リステーブル・ファイバー其ノ他ノ纖維ノ混用ヲ強制シ一方輸出ニ付テハ個人リンク制ヲ實施シテ製品ノ輸出ト原毛ノ輸入トヲ調整シ來リタル處最近之ガ國內消費ニ付テハ一層ノ節約ヲ必要トスルニ至リタルヲ以テ今般右混用規則ヲ改正シテ之ガ混用率ヲ相當程度引上グルト共ニ現在國內ニストックシアル純毛絲ニ付テハ其ノ國內向使用ヲ禁止スルコトトシ又價格ノ不當ナル騰貴ヲ防止スル爲混紡毛絲ニ付最高價格制度ヲ實施スルコトトセリ、而シテ羊毛關係產業ハ從來内地依存ノ程度相當高ク國內ノ消費節約ノ及ボス影響相當甚大ナルモノアリト被認ヲ以テ關係業者ニ對シテハ克ク事態ヲ認識セシメ前記統制ノ實施上遺憾ナキヲ期セラレ度シ

二五

二五、化學纖維ノ需給調整ニ關スル件

二六

棉花ノ國內民需用消費ハ今後極度ニ制限セラルルコトナリタル結果其ノ代用品タル人絹及ステープル・ファイバーニ對スル需要亦増大スルモノト豫想セラルル處今後人絹及ステープル・ファイバーノ原料タル人絹バルプノ輸入ハ困難ナル事情ニ在リ現狀ノ儘ニ放任スルヲ許サザルヲ以テ曩ニステープル・ファイバーノ原料タル人絹テーブル・ファイバー絲ノ最高價格ヲ告示スルト共ニステープル・ファイバー絲ノ番手ヲ制限シタルモ斯卡ル手段ノミニ依リテハ充分ニ之ガ需給ノ調整ヲ圖ルコト困難ナルモノト認メラルルヲ以テ今後之ガ配給竝ニ生産ノ全面的統制ヲ實施スル豫定ナリ、他方紙ニ付テモ原料バルプノ輸入制限ニ伴ヒバルプノ割當配給ヲ實施スル豫定ナルガ猶全般のニ紙ノ消費節約ヲ強行セザルベカラザル事情ニ在ルヲ以テ地方廳ニ於テモ右趣旨ヲ體セラレ機宜ノ處置ヲ採ラレ度シ

二六、純ベンゾール及純トルオールノ需給調整ニ關スル件

火藥、爆藥原料トシテ極メテ重要ナル純ベンゾール及純トルオールニ關シテハ今次事變ノ發生後各製造業者ヲシテ極力増産ヲ行ハシメ或ハモーターベンゾールノ製造ヨリ純ベンゾール及純トルオールノ製造ニ轉換セシムル等各種ノ方策ヲ講ジツツアリシガ今回時局ノ重大化ニ伴ヒ軍需及民需ヲ通ジテ全般的需給調整ヲ行フヲ要スルニ至リ近ク各工場ニ對スル消費割當竝ニ國內産品及輸入品ノ配給統制ヲ實施セントシツツアルガ之ニ伴ヒ一般民需ニ對スル純ベンゾール及純トルオールノ供給ハ相當程度ニ制限セラレ從テ其ノ價格モ昂騰スルニ至ルベキニ付各位ハ之ガ影響ニ特ニ留意セラレ必要ニ應ジ適當ナル措置ヲ講ゼラレ度シ

二七

二七、苛性ソーダノ價格統制ニ關スル件

染料、藥品其ノ他各種化學工業ノ基礎原料ニシテ殊ニ人絹及ステープル・ファイバー製造ニ不可缺少ナル苛性ソーダノ需要ハステープル・ファイバーノ需要増加ニ伴ヒ益々増大シタルガ其ノ價格ハ需要ノ増加ト原料タル工業鹽ノ輸入制限及炭價ノ昂騰ニ因リ著シク騰貴システープル・ファイバーノ價格ニ影響スル所大ナリ仍テ之ガ騰貴ヲ抑制スル爲メソーダニ關スル工業組合ヲシテ苛性ソーダノ最高價格ヲ協定實施セシムル方針ナルヲ以テ各位ハ價格統制ノ趣旨徹底ノ爲メ格段ノ注意ヲ拂ハレ度シ

二八、石炭酸及クレゾールノ需給調整ニ關スル件

爆薬原料、衛生材料トシテ事變後軍需増大セル石炭酸及クレゾールハ民需トシテモ金屬代用品タルベークライトノ原料トシテ重要性ヲ有シ居ルヲ以テ軍需ヲ完全ニ充足スルト共ニ民需ニ對シテモ各用途ニ對シ適切ナル配給ヲ行フハ特ニ緊要ト認メラルルニ依リ、差當リ石炭酸及クレゾールノ輸入業者及配給業者ヲ以テ組織スルフェノール類配給統制會ヲシテ需給調整ヲ實施セシムルコトト爲シタルヲ以テ其ノ圓滑ナル實施特ニ價格昂騰ノ抑制ニ關シ充分配意アリ度シ

二九、皮革使用制限規則ノ施行ニ關スル件

皮革ハ從來主トシテ輸入ニ依リ其ノ需要ヲ充シ居リタルガ此ノ際出來得ル限り民需用皮革ノ使用ヲ制限シ軍需ノ充足及輸出ノ振興ニ資スル爲皮革使用制限規則ヲ制定シ民需用ノ靴、馬具、調帶等ニ牛革ヲ、其ノ他ノ皮革製品ニ付テハ總テノ革ヲ使用スルコトヲ制限シタリ、本則ハ國民生活ニ至大ノ影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ其ノ趣旨ヲ廣ク一般ニ諒解セシメ之ガ圓滑ナル實施ヲ期セラレ度シ

三〇、皮革製品販賣價格取締規則ノ施行ニ關スル件

皮革ノ使用制限ニ伴ヒ現ニ存スル皮革製品ノ販賣價格ノ過當ナル騰貴ヲ來ス虞アルヲ以テ皮革製品販賣價格取締規則ヲ制定シ同則施行ノ日ノ前日（六月三十日）ノ販賣價格ヨリ引上グルコトヲ禁止シタルニ付之ガ取締ヲ嚴ニセラレ度シ

三二、皮革配給統制規則ノ施行ニ關スル件

輸入制限ト軍需ノ増加ニ因リ皮革ノ需給ハ著シク不均衡トナリタルヲ以テ國産品及輸入品ヲ通ジ其ノ配給ヲ統制スルガ爲皮革配給統制規則ヲ制定シ原皮取扱業者ヲ指定シテ其ノ取引系統ヲ規制スルト共ニ皮革ノ販賣價格ヲ公定スルコトト爲シタリ仍テ之ガ實施ニ付テハ充分協力セラレ度シ

三三、ゴム配給統制規則ノ施行ニ關スル件

ゴムニ付テハ其ノ輸入制限ト軍需ノ増加トニ因リ著シク需給ノ均衡ヲ失スルニ至レルヲ以テ之ヲ調整シテ軍需ノ充足ヲ圖ル爲昨年末ヨリ各種組合ヲシテ自治的配給統制ヲ實施セシメタルガ此ノ際之ヲ強化スル爲ゴム配給統制規則ヲ制定シタリ、本則ハ大體ニ於テ從來ノ自治的統制方法ヲ踏襲シタルモノニシテゴムノ購入ハ商工大臣又ハ統制團體ニ於テ交付スル購入票ト引換ニ特定ノ配給機關ヨリ之ヲ爲サシメ且其ノ價格ノ取締ヲ行ヒ又輸出向ニ付テハ其ノゴムノ必要量ニ相當スル購入票ヲ交付スルト共ニ輸出義務ヲ負ハシメ之ガ履行ニ關シ嚴重ナル取締ヲ爲スコトトシタルモノナルガ各位ハ本則ノ圓滑ナル施行ニ關シ充分配慮アリ度シ

三三、ゴムノ使用制限ニ關スル省令ノ施行ニ關スル件

ゴムノ需給ノ不均衡ヲ是正スル爲ニハ民需ニ對シ消費ノ規正ヲ徹底セシムル必要アルヲ以テゴムノ使用制限ニ關スル件(省令)ヲ制定シゴム靴、草履、玩具、海水浴用具等不要不急用途ニ對スルゴムノ使用ヲ原則トシテ禁止シ軍ノ注文、輸出注文又ハ商工大臣ノ許可ヲ受ケタル場合ニ限り之ヲ認ムルト共ニ卸商ノゴム靴ノ買上ヲ行フコトトシタリ、本則施行ノ適否ハゴムノ需給ニ及ボス影響極メテ重大ナルヲ以テ各位ハ所期ノ目的達成ニ特ニ協力アリ度シ

三四、ゴム靴ノ販賣制限ニ關スル省令施行ニ關スル件

ゴム使用制限規則ニ依リ總ゴム長靴及總ゴム短靴モゴム又ハ再生ゴムヲ使用シテ製造スルコトヲ禁止セザルヲ得ザルコトトナリタル處此等ノゴム靴ハ農山漁村民及小學兒童ニ取リテハ極メテ必要ナルモノナルヲ以テ現存ノモノノ自由販賣ヲ省令ヲ以テ禁止シ特定ノ配給機關ヲシテ一手ニ買上ゲシメタル上該機關ヨリ農山漁村民及小學兒童ニ對シ適正ナル配給ヲ行ハシムルコトト爲シタルニ付之ガ趣旨ノ徹底方配慮アリ度シ

三五、米松販賣取締規則ノ施行ニ關スル件

三六

米松ノ輸入制限ニ因リ其ノ需給ハ著シク均衡ヲ失スルニ至リタルヲ以テ其ノ不要不急用途ニ使用セララルコトヲ出來得ル限リ抑制シテ緊急ノ用途ニ振向クル爲メ米松販賣取締規則ヲ制定シ米松ノ販賣ニ付テハ總テ當省ノ許可ヲ受ケシムルコトト爲シタリ仍テ地方廳ニ於テハ右趣旨ヲ體シ本則ノ圓滑ナル施行ニ付充分協力セラレ度シ

三六、木造建築物許可規則制定ニ關スル件

生活ノ簡易化ヲ圖リ且物資特ニ木材ノ節約ヲ行ハントスル見地ヨリ木造建築物ノ建築ニ對シ、適度ノ制限ヲ加フルノ必要ヲ認メ目下關係各省ト連絡シテ木造建築物許可ニ關スル商工省令ヲ立案中ナルヲ以テ公布施行ノ上ハ右ノ趣旨實現ニ關シ特ニ地方廳ニ於テ協力相成度シ

(以上臨時物資調整局關係)

協 議 事 項

(昭和十三年七月)

商 工 省

一、石油ノ消費規正ヲ強化セル場合ノ影響竝ニ對策ニ關スル件
物資動員計畫ノ改訂ニ伴ヒ今後石油ノ消費規正ハ更ニ之ヲ相當強化セザルヲ得ザル情勢ニ立チ至リタル處目下實行中ノ規正實施狀況ニ鑑ミ之ガ各方面ニ及ボス影響ハ相當深刻ナルモノアルベキヲ以テ規正強化ノ實施ニ際シテハ其ノ影響ヲ考慮シ遺憾ナキ對策ヲ準備スルノ要アリ仍テ右ニ付協議セントス

二、時局關係産業法規ノ厲行ニ關スル件

重要物資ノ配給統制、使用制限、價格ノ抑制等ニ付テハ既ニ輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律ニ基ク各般ノ省令發布セラレ、將來ニ於テモ益々多キヲ加ヘントスル見込ナルガ之ガ違反行爲ハ時局下國民經濟ノ運行ヲ紊ルモノナルヲ以テ警察部ト緊密ナル連絡ヲ保持シ、違反行爲ノ豫防並ニ其ノ取締、摘發等ニ關シ遺憾ナキヲ期スルノ要アリ仍テ此ノ點ニ關スル具體的對策ニ付協議セントス

三、物資ノ配給統制、消費規正等ノ強化ニ伴フ失業對策ニ關スル件

重要物資ノ輸入抑制、生産統制、配給統制、消費規正等ノ強化ニ伴ヒ當該物資ヲ原料トスル工業者、當該原料又ハ其ノ製品ノ取引ヲ業トスル商業者並ニ之等ノ事業ニ従事スル職工、使用人等ノ中ニハ相當多數ノ失業者ヲ生ズルニ至ルベシト認めラルル處之ニ對シテハ中小工業ノ軍需工業轉換助成策ヲ講ジツツアルガ獨リ中小工業者ニ限ラズ關係産業全般ニ互リ産業政策上ヨリハ勿論社會政策トシテモ至急之ガ解決策ヲ考究スル要アリト認めラルルヲ以テ之ニ關シ協議セントス

商工省主催代用品工業振興展覽會要綱

一、目的 本邦代用品工業ノ改善發達ヲ目的トスルコト

二、名稱 代用品工業振興展覽會

三、開催地

展覽會ヲ二班ニ分チ左ノ六ヶ所ニテ開催ス

第一班 東京、札幌、仙臺

第二班 大阪、福岡、名古屋

四、會場

東京 東京市下谷區上野公園不忍池畔日本產業館

札幌 札幌市中島公園農業館

仙臺 仙臺市本柳町仙臺市公會堂

山臺 山臺市本町山臺市公會堂

林野 林野市中島公園農業館

東京 東京市千谷區上野公園不忍池畔日本道業館

四會

二遊 大洲、藤岡、名古屋

第一遊 東京、林野、山臺

銀鹽會 二遊ニ依テ五、六ノ週ニテ開辦ス

三開辦

二各 辦 外國品工業振興展覽會

一目的 本特外國品工業ノ改善發達ニ目的トスルコト

商工營主對外國品工業試興展覽會獎勵

大阪 大阪市西區江之子島上之町大阪府工獎勵館

福岡 福岡市西中洲町福岡縣第一公會堂

名古屋 名古屋市西區御幸本町愛知縣商工館

五會期及展示期間

會 期 自昭和十三年九月十六日至同年十二月十一日

展示期間

東京 自昭和十三年十月五日
至昭和十三年十月十八日

札幌 自昭和十三年十一月五日
至昭和十三年十一月十一日

仙臺 自昭和十三年十一月二十七日
至昭和十三年十二月三日

山邊

至昭和十三年十二月三日
自昭和十三年十一月二十日

津島

自昭和十三年十一月十一日
自昭和十三年十一月五日

東京

至昭和十三年十月十八日
自昭和十三年十月五日

展示期間

會 展

自昭和十三年九月十六日至同月二十一日

正會限或展示期間

名古屋

名古屋市西區幸本町愛媛商工會

藤岡

藤岡市西區中岡町藤岡練糸一公會堂

大洲

大洲市西區高志町大洲練糸工業會館

大阪

自昭和十三年十月十七日
至昭和十三年十月二十六日

福岡

自昭和十三年十一月十日
昭和十三年十一月十六日

名古屋

自昭和十三年十二月二日
至昭和十三年十二月八日

六 出品物（但シ第一號乃至第三號ノ出品物ニシテ既ニ普及セルモノ又

ハ不足物資●補填ノ趣旨ニ副ハザルモノハ此ノ限ニ在ラズ

一 代用原材料

二 前號ノ物品ヲ原材料トシテ製造シタル代用品

三 其ノ他ノ代用品

四 参考品

七 其ノ他ノ陳列品

